目次2へ 解答へ

- 1 次の問いに答えよ。
 - (1) 次の計算をせよ。

$$\mathcal{T} -8 \div 2 - 3 \times (-2)$$

$$\checkmark \quad \frac{18}{\sqrt{6}} - \sqrt{24}$$

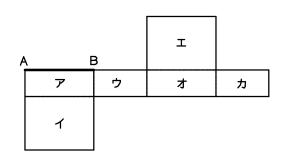
$$9 \quad 4ab^3 \times (-3a)^2 \div 2b^2$$

- (2) 二次方程式 $(x+3)^2 2x = 14$ を解け。
- (3) 2つのサイコロを同時に投げるとき、目の数の和が4の倍数となる確率を求めよ。ただし、サイコロの1から6の目の出かたは同様に確からしいとする。
- (4) 次の連立方程式を解け。

$$\begin{cases} 2x - 3y = 5 \\ x - 1 = y \end{cases}$$

(5) 2つの関数 $y = x^2$ と y = ax + 2 について、xの値が 1 から 3 まで増加するときの変化の割合が等しくなる。このとき、aの値を求めよ。

(6) 右の図は、直方体の展開図である。 この展開図をもとにして直方体をつく るとき、辺ABと平行になる面を記号で すべて答えよ。



2 右の度数分布表は、ある中 学校の男子生徒100人のうち、 80人の握力測定結果をまとめ たものである。

こうだい。 これについて、次の問いに 答えよ。

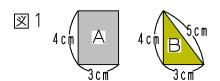
(1) 表の ア, イにあては まる数を求めよ。

握力 (kg)	階級値(kg)	度数(人)	相対度数	階級値×度数
以上 未満 20~24	22	2		41
24~28	26	ア	0.10	
28~32	30	31		
32~36				7
36~40	38	9		
40~44	42	5		210
44~48	46	4	0.05	184
計		80	1.00	2632

(2) この80人の測定結果の中央値が入っている階級を答えよ。

(3) 別の日に残りの男子生徒20人を測定したところ、全員が24kg以上28kg未満または40kg以上44kg未満の階級に入り、この20人を含めた100人の度数分布から求めた平均値はちょうど32.8kgとなった。20人のうち24kg以上28kg未満の階級にはいった人数を求めよ。

3. 右の図1のような長方形のタイルAと、直角 三角形のタイルBが多数ある。これらを直線L 上に、次の手順通りに並べていく。



<手順> ◐ タイルAを置く。

図2

- ② タイルAを置く。



以後、手順①~③を繰り返す。

ただし、図2のように、2枚目以降は、直前に置いたタイルの右へすきまなく 重ならないように並べるものとする。

例えば、4枚のタイルを並べたとき、タイルで作られた図形の周の長さは38cm、 面積は42cm²である。次の問いに答えよ。

10枚のタイルを並べたとき、タイルで作られた図形の周の長さと面積を (1)求めよ。

(2) 何枚かのタイルを並べたとき、タイルで作られた図形の周の長さは428cm であった。この図形の面積を求めよ。

4 A市、B市の水道料金について調べてみたところ、それぞれの市の1ヶ月あたりの水道料金は次のように定められていた。

水道料金 = 基本料金 + 使用量ごとの料金

A市

基本料金	使用量	使用量ごとの料金
	0m ³ 以上 20m ³ 以下	0円
2000円	20m ³ 以上 50m ³ 以下	20m ³ を超える分について,1m ³ あたり100円
	50m ³ 以上	50m ³ までの料金に加え,50m ³ を超える分について,1m ³ あたり140円

В市

基本料金	使用量	使用量ごとの料金
1000円	0m ³ 以上 80m ³ 以下	1m³ あたり 125円
	80m³ 以上	80m³ までの料金に加え,80m³ を超える分について,1m³ あたり100円

このとき、次の問いに答えよ。

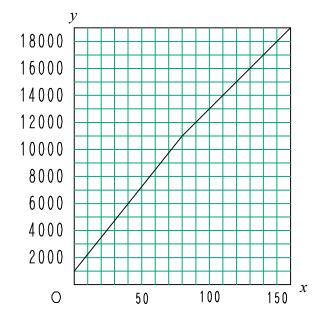
- (1) 1か月あたりの使用量が30m3のときのA市の水道料金を求めよ。
- (2) 1か月あたりの使用量が xm^3 のときの水道料金をy円とする。A市における 次の各場合について、yを表す式をつくれ。

ア $0 \le x \le 20$ のとき

イ 20≦*x*≦50 のとき

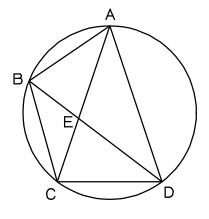
ウ 50≦*x* のとき

(3) 右の図はB市における使用量と 水道料金の関係を表すグラフであ る。この図に、A市における使用 量と水道料金の関係を表すグラフ を書き入れよ。



(4) 同じ使用量のときの水道料金について、B市の方がA市より高くなるのはどのような使用量のときか。その求め方を式と言葉を用いて説明せよ。ただし、答えは求めなくてよい。

- 5 右の図のように、円周上に、4点A,B,C,Dを この順にとり、AC=AD、弧BC=弧CD とする。 また、線分ACと線分BDの交点をEとする。 このとき、次の問いに答えよ。
 - (1) AB=AE であることを証明せよ。



- (2) AC = 6 c m, $DE = 4 c m \mathcal{O} \xi \delta$,
 - (ア) 線分ABの長さを求めよ。